

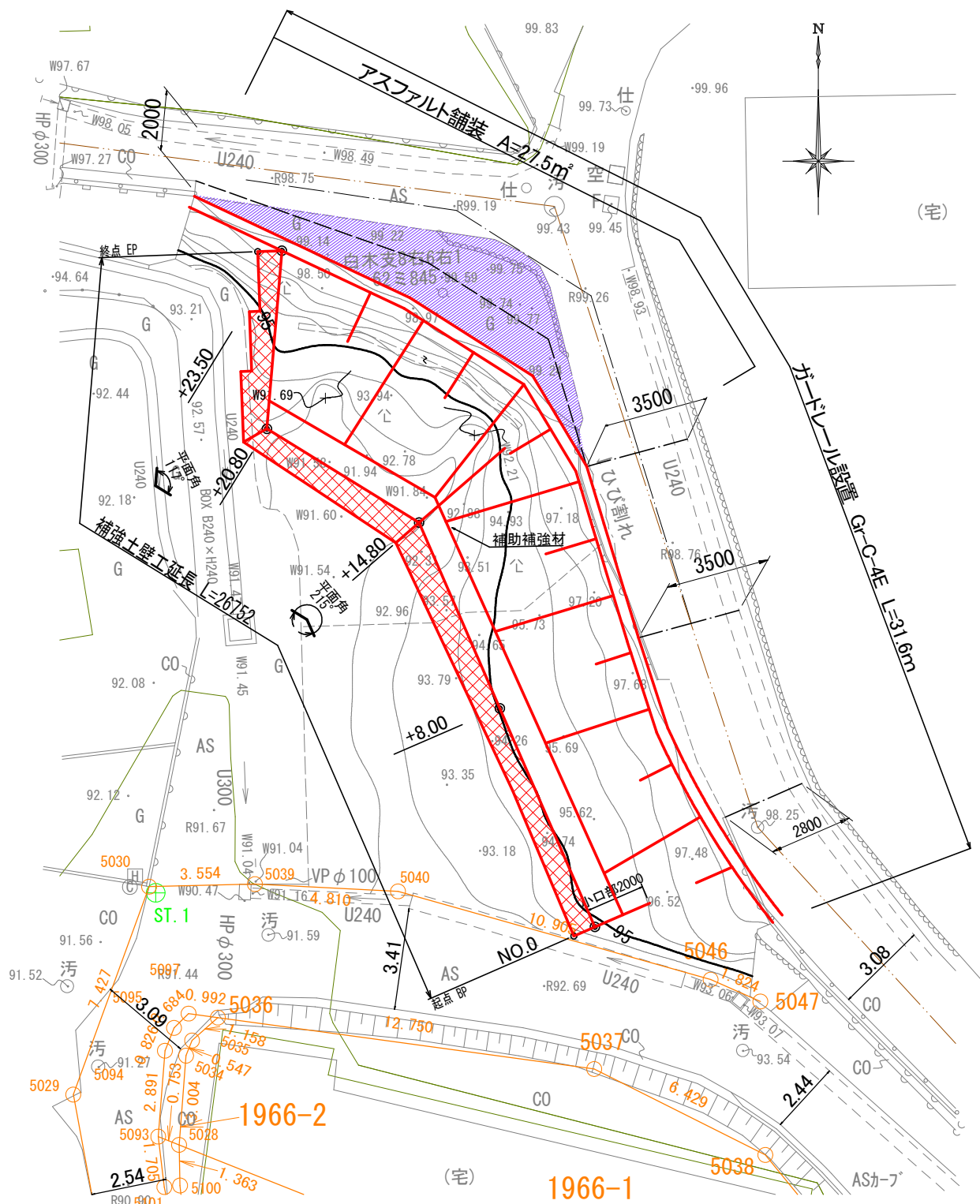
位置図



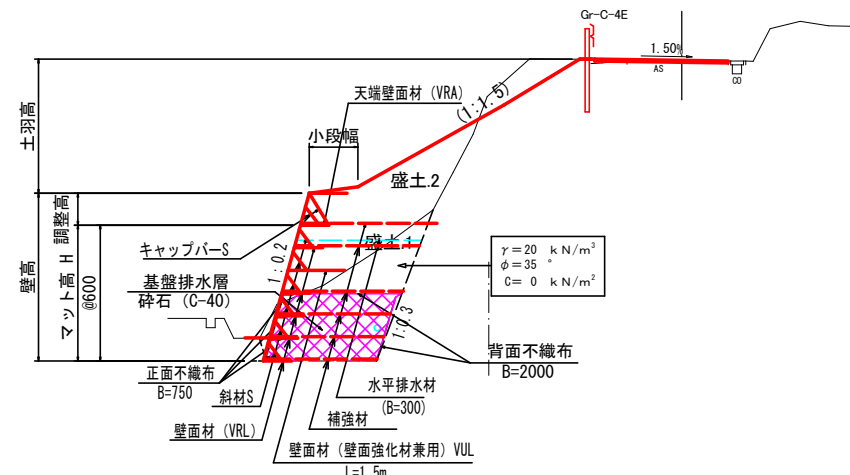
工 事 名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	位置図		
縮 尺	S=1:2500	図面番号	1/7
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		

補強土壁工計画図

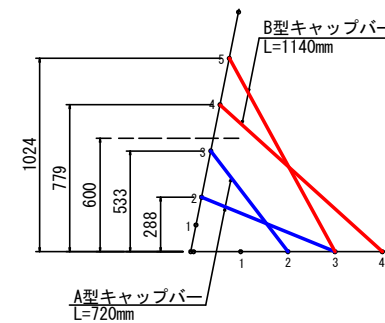
平面図 S=1/100



標準断面図 S=1/100



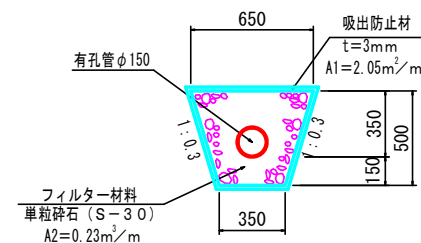
キャップバーS取付図 S=1/20



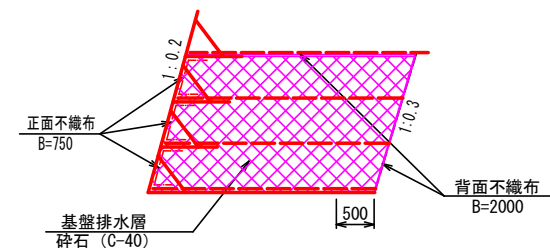
<注意事項>

- ・キャップバーSは調整トップマット1ユニットに対して、A型3本、B型3本を使用し、調整高さが600mmより低い箇所にはA型、高い箇所にはB型を設置する
- ・同様にハーフユニットに対しては、A型2本、B型2本を使用する
- ・フックを掛ける交点の組み合わせは上図を参考にし、必ず縦筋と横筋の交点に掛ける

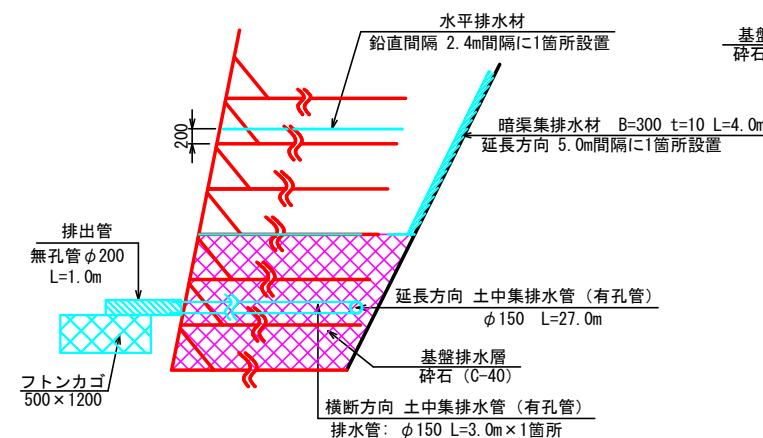
土中集排水管 S=1/20



基盤排水層不織布取付詳細図



排水工標準図 S=1/50



設計条件		
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$	
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$	
盛土材の粘着力	$C = 0 \text{ kN/m}^2$	
活荷重	$q_L = 10 \text{ kN/m}^2$	
雪荷重	考慮しない	
設計水平震度	内的	外的
	$k_H = 0.15$	$k_H = 0.11$
擬似擁壁の外的安定	単位	常時
地震時	$Q_1 = 143.851$	$Q_2 = 145.920$
支持力の安全率	$F_s \geq 3.0$	$F_{se} \geq 2.0$
必要な極限支持力	k_N/m^2	$q_u = 431.553$

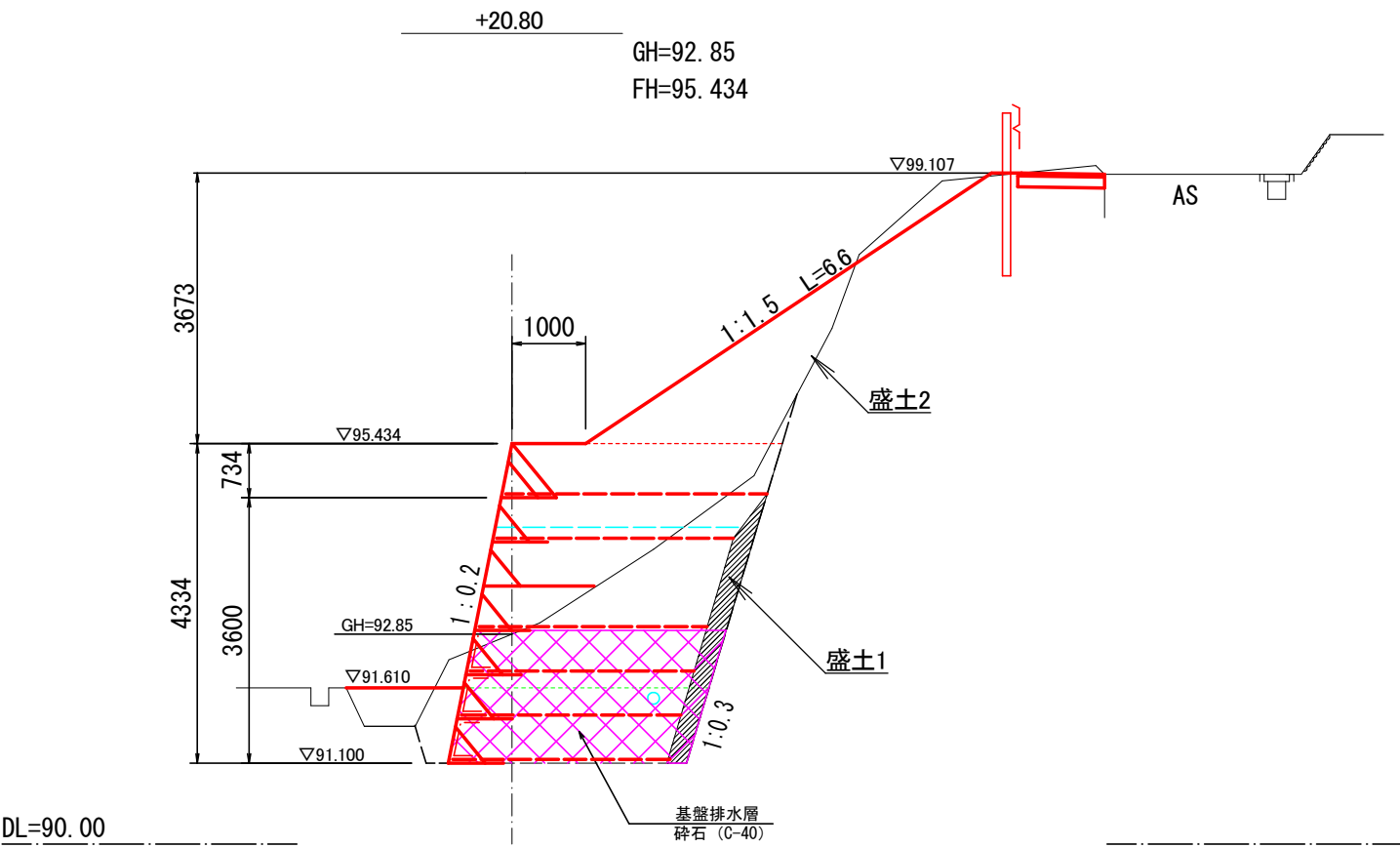
特記事項

- ・盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。
(土質材料) : 細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。
(岩石質材料) : 最大粒径が 300 mm 以下の硬岩なり、もしくはスレーキング率 30 % 以下の軟岩なりで、細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。
- ・掘削時に切土面からの湧水が著しく多い場合は、別途排水対策を追加すること。
- ・基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であることを確認すること。

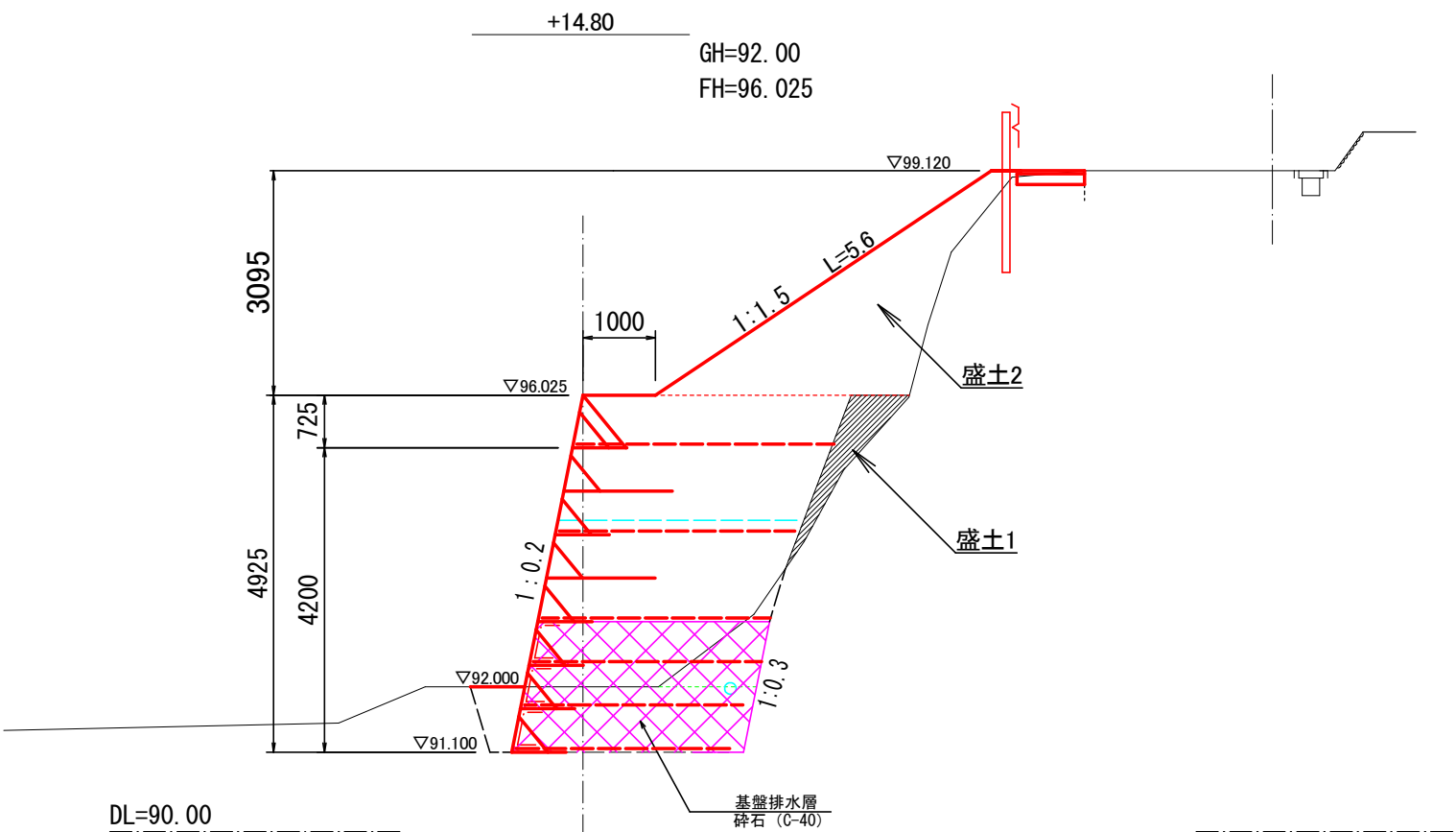
施工管理基準値

項目 (頻度)	
盛土材の締固め度 (盛土材 500 m² に 1 回)	・ JIS A 1210 の A, B 法による最大乾燥密度の 95 % 以上又は、C, D, E 法による 90 % 以上とする。 ・ 細粒分含有量が多い場合 (20 % 以上) で上記締固め度が得られない場合は、空気間隙率を 13 % 以下とする。 ・ 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・ ±0.03 ± H および 30 cm 以内。 ここで H は壁高。

工事名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	計画図		
縮尺	A1 図示	図面番号	2/7
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		



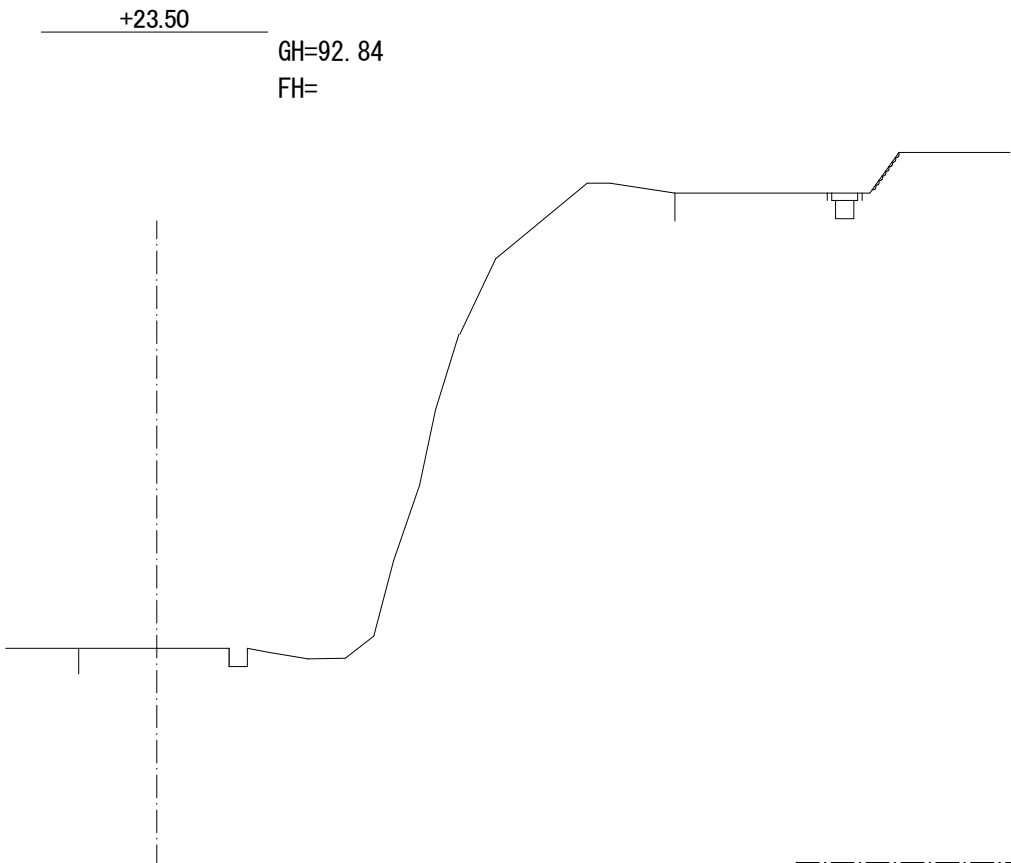
機械掘削	5.8
床 堀	3.8
埋 戻	0.9
盛土1	1.6
盛土2	3.2
基盤排水層	—
盛土法面整形	6.6



機械掘削	0.9
床 堀	3.3
埋 戻	0.5
盛土1	0.8
盛土2	5.3
基盤排水層	—
盛土法面整形	5.6

工 事 名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	横断面		
縮 尺	A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号	4 / 7
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		

※この図面はA1サイズを原寸とする。



機械掘削	0.00
床 堀	0.00
埋 戻	0.00
盛土1	0.00
盛土2	0.00
基盤排水層	—
盛土法面整形	0.00

工 事 名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	横断面図		
縮 尺	A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号	5 / 7
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		

※この図面はA1サイズを原寸とする。

補強土壁工展開図

A1 S=1:50
A3 S=1:100

補強土壁工延長 L=26752

注:

—

は、現況地盤線を表す。

- - -

は、埋戻し線を表す。

—

は、水平排水材(B=300)を表す。

□

は、補助補強材TT(幅1.0m)の配置位置を示し、

■

は、基盤排水層及び吸出防止材 配置区域を表す。

展開図における補強材の省略記号は、以下の通りである。

壁面材種類

RA: VRA

RL: VRL

UL: VUL

補強材種類

TT-045~090

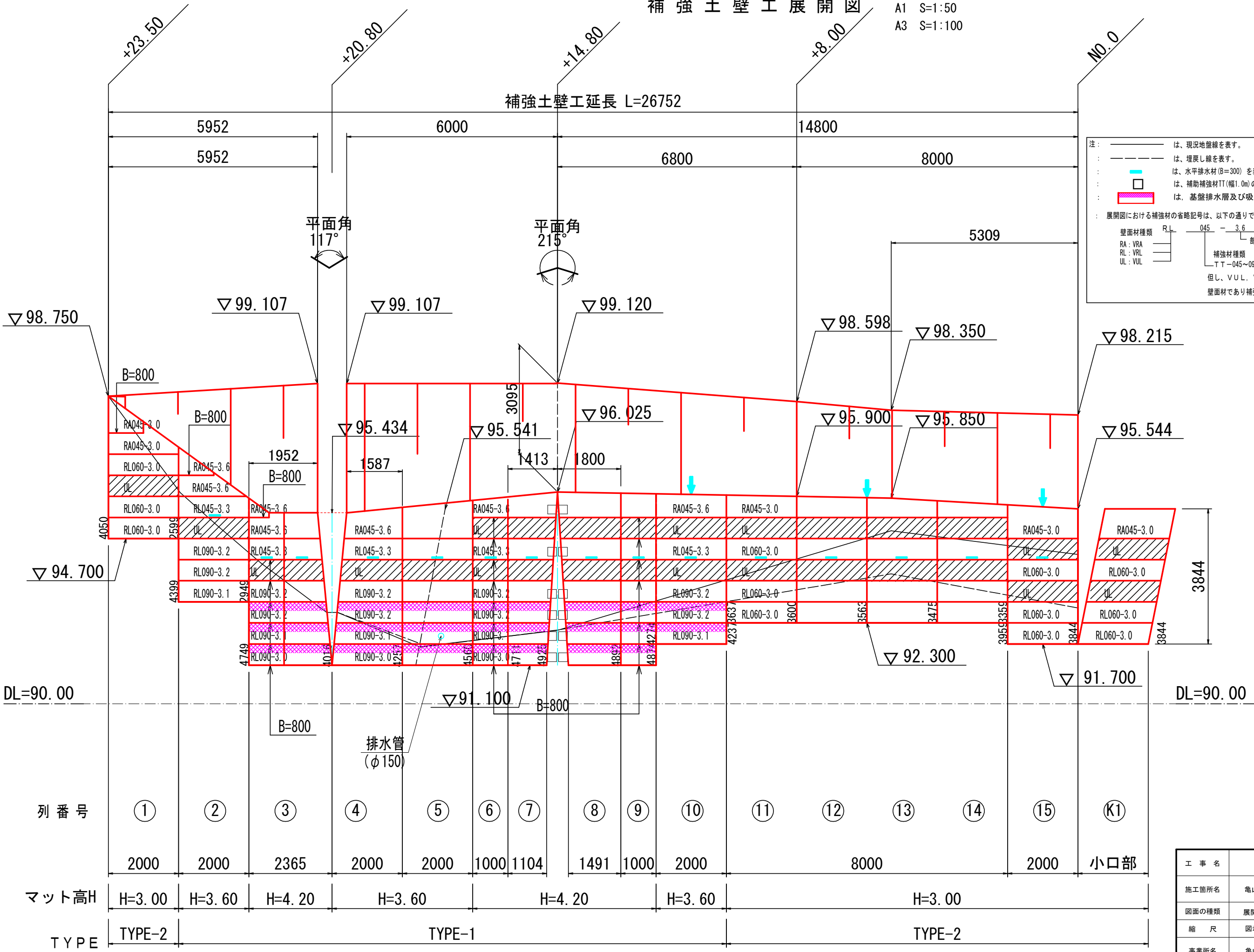
但し、VUL, VUM, VUHは壁面強化材兼用の壁面材であり補強材敷設は行わないものとする。

RL

045

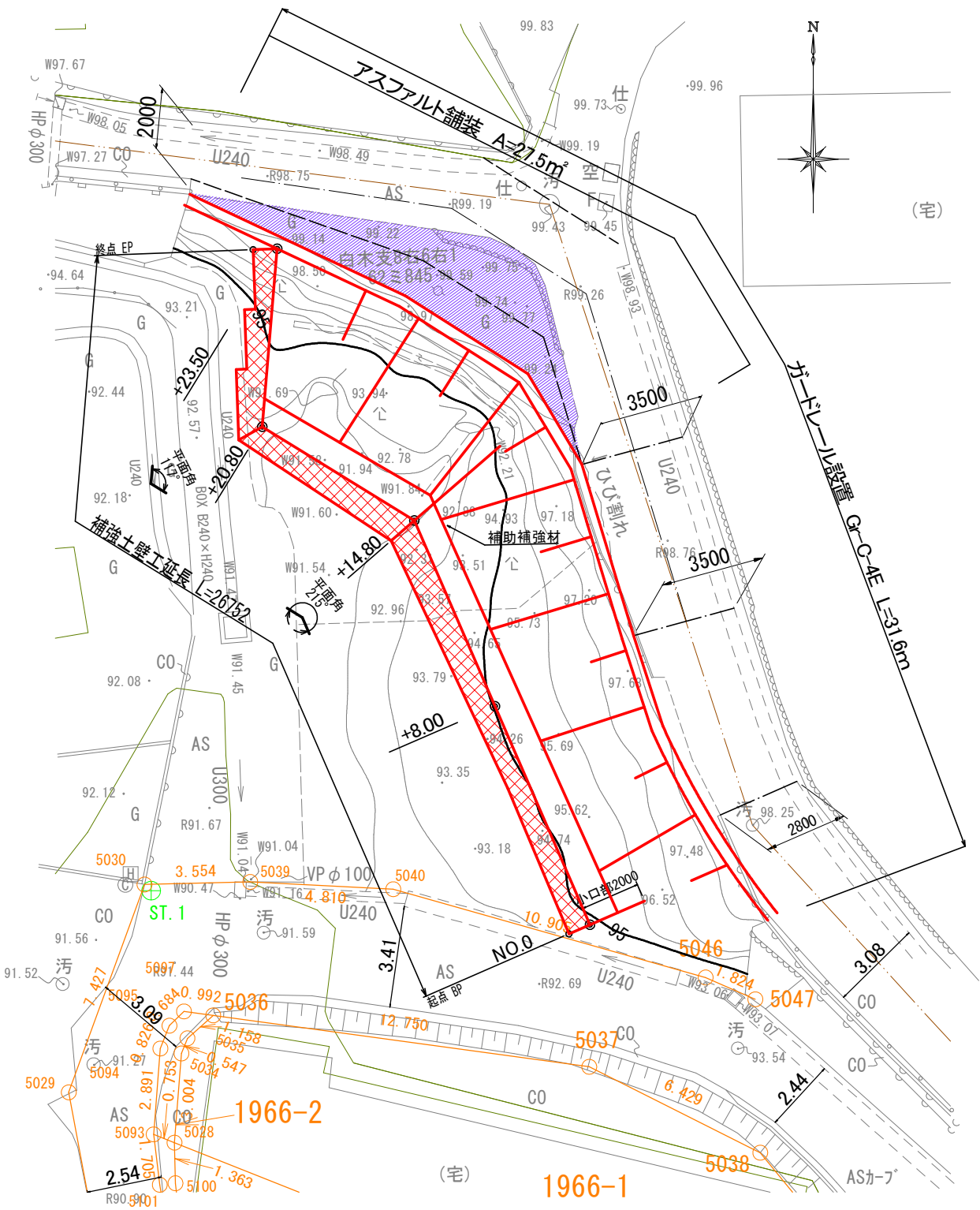
3.6

部材長 (m)



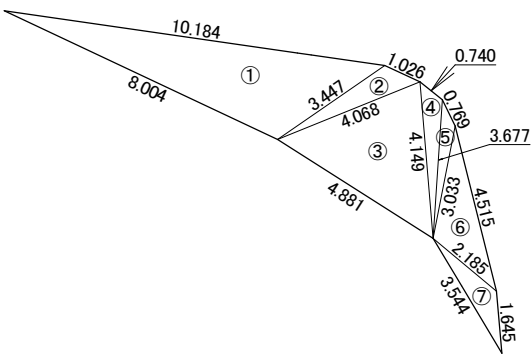
工 事 名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	展開図		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 7
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		

平面図 S=1/100



舗装展開図

A1 S=1:100



計算式

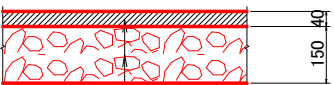
$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$$
$$s = \frac{a+b+c}{2}$$

求積表

番号	a	b	c	面積 m ²
①	10.184	3.447	8.004	11.92
②	4.068	3.447	1.026	1.52
③	4.881	4.068	4.149	8.07
④	4.149	0.740	3.677	1.11
⑤	3.677	0.769	3.033	0.70
⑥	3.033	4.515	2.185	2.90
⑦	2.185	1.645	3.544	1.27
計				27.49

舗装工

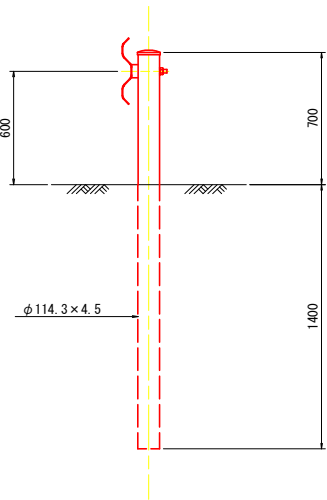
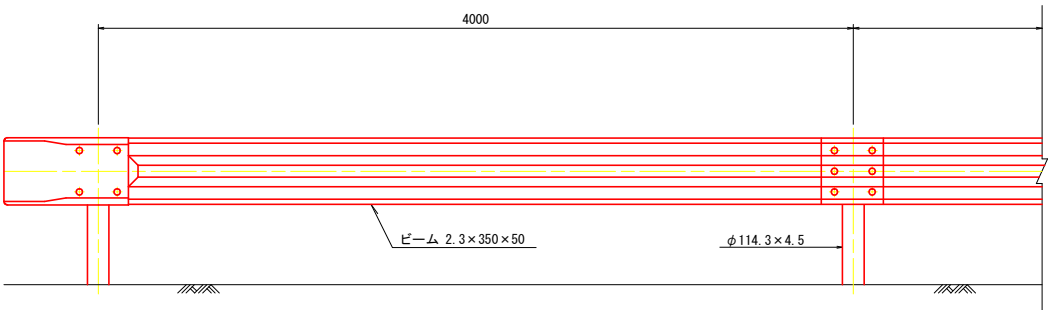
A1 S=1:10



表層工：再生密粒度アスコン(13)
路盤工：再生砕石 RC-40

ガードレール(Gr-C-4E)

A1 S=1:20



ガードレール(Gr-C-4E) 数量表

10.0m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
ガードレール	Gr-C-4E	m	10.0	

工事名	下白木5号線法面修繕工事		
施工箇所名	亀山市白木町 地内		
図面の種類	工法図		
縮尺	図示	図面番号	1/1
事業所名	亀山市 建設部 建設管理課		